

□要請番号 (JL51225B27)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ガーナ	G237 手工芸	20~45歳のみ	個別	交替 2代目	2年	・2026/3・2027/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育省

2) 配属機関名 (日本語)

スンヤニ職業訓練校

3) 任地 (ボノ州スンヤニ市) JICA事務所の所在地 (アクラ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機で約1.0時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

スンヤニ職業訓練校は1979年に女性の雇用機会や収入向上を目的に設立された。現在は男女共学となり服飾、自動車、建築、調理、電気、ICTなど10コースを開講している。入学対象は中学校卒業生で、生徒数は約550名、講師は約40名。年度予算は約450万円(人件費を除く)。かつてJICA海外協力隊が活動していた(手工芸、2024年5月まで)。ガーナでは雇用の受け皿となる民間企業が十分発達しておらず、卒業生は多くの場合、各業種の親方に弟子入りするか、自ら独立開業することが求められる。狭き門だが、成績優秀者には大学進学の機会もある。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ガーナ国内には多くの仕立屋が立ち並び、カラフルな生地を使用した洋服は老若男女に好まれ、日常的に洋服が仕立てられている。そのため地方においても洋裁の仕事は需要が多く、配属先の服飾コースも女性に人気のコースである。本コースでは、現地で人気のプリント生地やビーズを使用した服飾小物類の製作実習を行っている。しかし商品のデザインが古く、輸入品と比べて質が悪いため、売り上げが伸びていない。JICA海外協力隊は、対象コースの実習をサポートすると共に、新たなデザインの提案や助言、新商品の開発、既存製品の品質向上による販路拡大が求められている。また、同僚に対して同分野に関する知識、技術の共有や指導を強く求めており、今回の要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 服飾コースにおいて、訓練生に裁縫の基礎を中心とした指導を行ない、縫製技術の向上を支援する。
- 同僚教員と共に、既存製品のデザインの改善や製品の品質向上の支援を行う。
- アクセサリー等の小物類を中心とした新たな商品のアイディアを提案する。

※受け持つ学年やコマ数は、赴任後に配属先と相談して決定する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

手動ミシン12台(BUTTERFLY製)、電動ミシン1台(Gemsy製)、裁縫道具(メジャー、はさみ、針等)

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

校長(男性、50代)

服飾コース長1名(女性、40代)

服飾コーススタッフ6名(女性、20代~40代)

活動対象者:

中学校卒業程度の女子生徒 約90名(各学年30名程度)

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]： ()

[学歴]： () 備考：

[性別]： () 備考：

[経験]： (実務経験) 2年以上 備考：専門的な知識・経験を要するため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]： (サバナ気候) 気温： (25~35°C位)

[電気]： (安定)

[通信]： (インターネット可 電話可)

[水道]： (不安定)

【特記事項】

不定期な停電・断水がある。停電は数時間程度で復旧することが多いが、断水は数日間以上に及ぶこともあります。生活使用言語はチュイ語。赴任後に現地語訓練を実施する。